

語彙索引 凡例

一、本索引は、藤田美術館蔵『阿字義』（院政期写本）に用いられている総ての語を、複製本（続日本の絵巻 7、中央公論社、一九九〇年）に基づいて、収めたものである。現在一卷とされているこの絵巻は、「阿字義」「阿字功能」「浄三業真言」から成るが、すべて同筆である。

一、藤田美術館蔵『阿字義』（以下、本資料という）は、右複製本の小松茂美の解説によれば、十二世紀末の書写と見られており、漢字のほとんどに当時の振り仮名が加点されている。この振り仮名が本文と同一人物の手になるものかどうかは不明であるが、仮名字体から、本文と同時期の加点であると判断される。よって、国語史料として重要であると判断し、本索引を作成するものである。

一、各項の記載形式は、見出し語・用例・用例の所在とした。

一、見出し語について

1. 見出し語は、平仮名で歴史的仮名遣（字音語はいわゆる字音仮名遣）で統一した。
2. 排列は、最終音節までの五十音順とした。
3. 参照項目を設け、複合語の低位要素からも検索できるようにした。
4. 見出し語は、単語を原則とした。
 - a. 漢語にサ変動詞「す」の付いた形は、一語として扱った。
 - b. 漢語に助動詞「なり」「たり」の付いた形は、一語として扱った。
 - c. 和語を語幹とするいわゆる形容動詞は、一語として認めた。
 - d. 引用されている書名などは、単語に分割せず、そのままの形で掲出した。

一、用例について

1. 用例は、「翻字本文」に基づいて掲出した。

2. 用例の引用は、以下の通りとした。

a. 自立語・付属語とも、原則として当該語のみを示した。

b. ただし、活用語は、その用法に応じて下接語（または語句）も示した。

3. 用例の排列は、以下の通りとした。

a. 活用しない語は、出現順に排列した。

b. 活用語は、未然形・連用形・終止形・連体形・已然形・命令形の順に排列した。

c. 同一単語で、仮名表記と漢字表記とのある場合は、仮名表記を先とし、漢字表記を後とした。

d. 漢字表記の語に振り仮名のあるものと無いものがある場合には、振り仮名のあるものを先とし、無いものを後とした。

e. 同一単語で用例の表記が全同の場合は、初出例の下に所在を記すにとどめた。

一、用例の所在について

1. 用例の所在は、「翻字本文」に基づいて、算用数字で記した。

一、本索引は、佐々木勇・武久康高・寺田守・馬野奈緒子・小松原有子・佐藤善宏・埤憲子・西尾美紀・宮之首聡浩・村山太郎・山内寛和・川越泰子・坂野梨絵・福田弥生・渡辺心・小林広直・土屋俊明・富田みな子・松浦尚紗・山崎真理子・山根雅子で作成した。

一、製版にあたっては、金水敏氏のホームページ「LATEXによる古典籍のコード化のためのマクロ作成」で公開されているマクロを使わせていただいた。

一、索引作成の手順、製版のもとのファイル作成は、寺田守提案の方式がとられ、入力全般に亘って同氏の尽力が大きかった。

あ

あか (垢) アカ 22
 あき (秋) アキ 141
 あきらかなり (明らかなり) 21
 あきらかなり 109
 あきらかなる 104
 あくごふ (悪業) アクゴウ 108
 悪業
 あし (足) 19
 あし 108
 あじ (阿字) 64
 阿字 アジ 257
 68 74 77 85 89
 あじき (阿字義) 1
 阿字義
 あじもん (阿字門) 69
 阿字門 アジモン
 あじりん (阿字輪) 29
 阿字輪 アジリン

あそぶ (遊ぶ) 81
 あそふ
 あたふ (能ふ) 60
 あたはさるなり
 あたる (当る) 78
 あたれる
 あはす (合す) アハセ 112
 合て
 あひだ (間) 108
 あひた
 あふ (合ふ) 51
 あはむ
 あまねし (普し) 《形容詞》 17
 あまねく
 あらはす (現す) 200
 あらはしたてまつらむ
 あらはる (現る) 123
 あらはれたまへる
 あり (有り) 91
 あらす 63 65 70
 あらねとも 168
 ありて 145 162
 あり 36 41

あること 220
 あんらくかい (安楽界) アンラクセカイ 188
 安楽界
 あんらくぎやう (安楽行) アンラクギヤウ 183 189
 安楽行
 あんらくせかい (安楽世界) アンラクセカイ 171 174 178 181
 安楽世界
 あんらくぼむ (安楽品) アンラクホム 180
 安楽品
 い 188
 いき (息) 73 76
 いき
 いさぎよし (潔し) 141
 いさきよきこと
 いし (石) 94
 いし
 いだす (出す) 129
 出して
 いただき (頂) 18
 いたゝき

いたづらなり (徒なり) 195
 いたつらに
 いたる (至る) 19
 いたりて
 いたる
 いちさい (一切) 82
 一切 サイ 27 30 89 92
 一切 サイ 53 54 132 137
 いちさいしゆじやう (一切衆生) 58
 一切衆生 サイスウシヤウ 2 114 224 237
 一切衆生 スウシヤウ 52
 一切衆生 18
 いちさいぶつせつ (一切佛刹) 6
 一切佛刹 サイホツ
 いちさいほふ (一切法) 201
 一鉢三寶 ダイホウ 199
 いづ (出づ) 160
 いつるなり
 いでいる (出入る) 72
 いている

いと (糸) ↓じしきのいと
 いと 《副詞》
 いとと 《副詞》
 いとく 《副詞》
 いのり (祈り) ↓おむいのり
 いはく (云く)
 云^{イハク}
 いはゆる (所謂) 《連体詞》
 いはゆる
 者^{イハ}いふ (云ふ)
 いひせめて
 いひと
 いふ
 いふこと
 いふ事^{コト}
 いふなり
 いふは
 いへるは
 185 226 113 124 132 135 180 189 222 126 136 198 46 91 118 133 186 186 188 202 117 206 104 187 235 97 228 236

いま (今) 《副詞》
 今^{イマ}
 いまだ (未だ) 《副詞》
 いまた
 いみじ 《形容詞》
 いみしき
 いる (入る) 《四》 ↓いでい
 らむ
 いらむ
 いらむ
 いろはへる
 いろはへる
 いろかゆへに
 いるとき
 いるところ
 いるなれは
 いる (入る) 《下二》
 いたたまふ
 いろ (色)
 いろ
 いん (印)
 印^{イン}
 いんぜふす (引攝す)
 103 105 175 177 189 181 69 185 178 167 208 12 34 64 38

引^{イン}攝^{セツ}する
 う
 う (得)
 えむ
 えしめむ
 う
 うかぶ (浮ぶ) 《四》
 うかふへき
 うく (受く) 《下二》
 うけさせたまひつる
 うけつる
 うごく (動く)
 うこき
 うす (失す)
 うせす
 うたがひ (疑) 《名詞》
 疑^{ウタガヒ}
 うち (中)
 中^{ウチ}
 うへ (上)
 うへ
 76 202 164 31 95 153 198 106 70 80 159 53 54 72 74 130

うまる (生る)
 うまれあはむ
 うまるゝ
 うやまふ (敬ふ)
 敬^{ウヤマヒ}て
 うんかい (雲海)
 雲海^{ウンカイ}
 うんぬん (云云)
 云く
 え
 え 《副詞》
 えう (要)
 えう
 えんめい (延命) ↓ぢよびや
 うえんめい
 お
 おうじん (應身)
 應身^{オウジン}
 おこなひ (行ひ) 《名詞》
 119 228 177 166 236 128 164 154 51

をこなひ 181
 おこる (興る) 182
 をこりて
 おつ (落つ)
 をちす 209
 をちて
 おなじ (同じ) 《形容詞》 98
 をちて 165
 おなしく 50
 おなし 93
 おのづから (自ら) 《副詞》
 おのづから 115
 おのつから 132
 おはします (御座ます)
 おはします 229
 おはしますへき 231
 おほし (多し) 《形容詞》
 おほくは 85
 おほくも 32
 おぼしめす (思し召す)
 おほしめして 191
 おほふ (覆ふ)
 おほひかくされて 59
 おほひかくせとも 108
 おほよそ (凡そ) 144

おほよそ 33
 おむ (唸) 《梵語》
 おむ 101
 唸 (上)
 おむいのり (御祈り)
 御いのり 209
 おむころ (御心)
 御心 209
 おむこと (御事)
 御こと 214
 おむすがた (御姿)
 御すかた 113
 おむせうそく (御消息)
 御消息 97
 おむな (御名)
 御名 123
 おもひ (思ひ) 《名詞》
 おもひ 147
 おもふ (思ふ)
 おもはす 170
 おもはす 148
 おもはす 73
 おもはす 76
 おもはむ 47
 おもはむ 49
 おもはむ 50
 おもはむ 51
 おもはむ 52
 おもはむ 53
 おもはむ 54

おもひえはへりて 177
 おもひたてまつる 227
 おもひはへる 179
 おもひはへる 201
 おもひはへる 160
 おもふかゆゑに 148
 おもふ心 150
 おもふこと 168
 おもふには 195
 おもふをは
 が 《助詞》
 か 111
 か 107
 か 75
 か 69
 か 68
 か 35
 か 31
 か 28
 か 24
 かい (界) 188
 界 152
 かいきやう (戒經) 152
 戒經
 かいふす (開敷す) 38
 開敷せしむる 42
 開敷する

かがみ (鏡) 105
 鏡
 かぎりなし (限り無し) 150
 かきりなく 147
 かく (掛く) 55
 かけつれば 29
 かく (斯く) 《副詞》
 かくのとき 44
 かくのとき 99
 かくのこどく 13
 かく (書く) 14
 かくれはへらむ 98
 かき 14
 かきて 60
 かきはつる 109
 かくす (隠す) 145
 かくされて 196
 かくせとも 106
 かずふ (数ふ) 112
 かすふらむ 113
 かたち 106
 かたち 196
 かなし (悲し) 113

くわんねむす (観念す)

クワンネム 観念する

103

クワンネム 観念すれば

95

くわんむりやうじゆきやう

(観無量壽經)

クワンムリヤウスウキヤウ 観無量壽經

154

くのみやう (帰命)

クニミヤウ 帰命

124

くのみやうす (帰命す)

クニミヤウス 帰命して

125

け

げ (下)

下ケ

78

けり 《助動詞》

ける

138
170
184

ければ

げんず (現す)

ケン 現す

68

こ

こがね (黄金)

こかね

95

こく (虚空)

コク 虚空

80

ごくらく (極楽)

コクラク 極楽

167
169

ごくわん (御願)

コクワン 御願

211

こころ (心) ↓おむこころ

こころ

41
190
199
202

心

ココロ

127
140
147
148
163
188
204
225
226

心

いしきのいと (五色の糸)

五色のいと

186
187

ごすん (五寸)

ゴスン 五寸

77

こそ 《助詞》

こそ

216

こと (事) ↓おむこと

こと

207
207
212
213
220
228
230
235
240

131
134
141
150
159
186
187
188
206

46
60
74
80
91
104
116
118

ことし 《助動詞》

ことく

28
31
55
119
149
151
197
198
236

ことくになりぬ

ことくになりぬ

28
29
146
157
158

ことし

ことき

26
35
140
149

ことば (詞)

ことば

45
55

ことひと (異人)

こと人

124

この (此)

この

195

このゆゑに (此の故に)

このゆゑに

58

このかた (此の方)

此コ 90
2
15
38
39
61
73
74
78
86

139
190
206
210
230
235

64
71
77
82
85
89
94
103
120

5
7
11
16
18
21
29
57

このゆゑに (此の故に)

このゆゑに

114
152

このゆゑに (五百)

135

これ (是)

これ

2
4
5
89

是コレ

7
200
223

さ

さうもく (草木)

サウモク 草木

27

さかふ (境ふ)

さかふ

187

さかふ

ざぐわ (坐臥) ↓ぎやうぢう

ざぐわ

181

さす (指す)

さす

210

さす 《助動詞》

させたまはむ

させたまひつる

さづく (授く)

さつくる

198

ささる (悟る)

ささる

70

さはり (障り)

さはり

60

なほり	106
なむらひぬ	212
なむらひぬ	229
候 <small>サフラフ</small>	197
候へけれ <small>サフラフ</small>	216
なむらひましく	207
候事 <small>サフラフコト</small>	236
なへづる (轉る)	116
なへづる	116
なむあくだう (三悪道)	165
三悪道 <small>アウタウ</small>	167
なむくる (三歸)	197
三歸 <small>クキ</small>	197
なむじ (三時)	71
三時 <small>シ</small>	71
なむじゆじやうかい (三聚淨戒)	122
三聚淨戒 <small>シユ上カキ</small>	122
なむしんによらい (三身如来)	119
三身如来 <small>シンニヨライ</small>	119
三身如来	120
	124

なむぜ (三世) ↓じふはうさむぜ	44
なむほう (三寶) ↓いちたい	44
なむほう	44
なむまい (三昧) ↓れんぐゑ	44
なむまい	44
なむまいもん (三昧門)	44
三昧門 <small>マイモン</small>	44
さも (然も) 《副詞》	229
さも	229
ならに (更に)	56
ならに	79
なる (然る) 《連体詞》	193
なる	193
なるばだるま (薩縛達磨) 《梵語》	101
薩 <small>サル</small> 縛 <small>ハケル</small> 達 <small>上</small> 磨 <small>マ</small>	101
薩縛達磨	131
されど 《接続詞》	216
されと	216
さんず (散ず)	17
散して	17
し	

し (死)	78
死 <small>シ</small>	78
じ (字)	11
じ	16
じ 《助動詞》	71
じ	73
じ	89
じ	91
じ	94
じ	127
し (肉実)	168
し	168
じむ (自心)	150
じむ	158
自心 <small>シム</small>	158
しむら (肉叢)	233
しむら	233
ししやう (四生) ↓ろくだう	239
ししやう	239
じしやうしやうじやう (自性清淨)	135
じしやう	139
自性 <small>シシヤウ</small> 清 <small>上</small> 淨	225
した (舌)	115
舌 <small>シタ</small>	115
しづかなり 《形容動詞》	190
しづかに	190
じつさう (実相)	217
じつさう	221
実相 <small>シチサウ</small>	221

しつち (悉地)	53
悉地 <small>シツチ</small>	53
して 《助詞》	6
して	24
しほう (四方)	156
しほう	220
四方 <small>シハウ</small>	220
じひ (慈悲) ↓だいじひ	17
じぶつ (四佛)	39
じぶつ	39
四佛 <small>フツ</small>	39
じふはう (十方)	17
じふはう	81
十方 <small>ハウ</small>	129
じふはうさむぜ (十方三世)	2
じふはう	90
十方 <small>ハウ</small> 三世 <small>セ</small>	90
しぼさつ (四菩薩)	39
しむ (心)	61
しむ	225
心 <small>シム</small>	225
しむ 《助動詞》	159
えしめむ	159
しむる	39
しむしやう (心性)	24
しむしやう	24
心性 <small>シムシヤウ</small>	24

しむしやうじやう (心清淨) 67
 心清淨 シムシヤウ上
 しむちゆう (心中) 84
 心中 シムチウ
 しも (下) 37
 しも
 しやういん (正因) 155
 正因 シヤウイン
 じやうかい (淨戒) ↓さむじ 155
 浄戒 上コウ
 ゆじやうかい
 しやうがく (正覺) ↓むじや
 うしやうがく
 じやうじふ (淨業) 155
 淨業 上コウ
 じやうさむじふしんごん (淨
 三業真言)
 淨三業真言 100
 しやうじ (生死) 143
 生死 シヤウシ
 しやうじやう (清淨) ↓じ
 しやうしやうじやう・しむ
 しやうじやう・ほんしやう
 しやうじやう

清淨 シヤウ上 23
 29
 150
 153
 159
 しやうじゆ (聖衆) 129
 聖衆 シヤウスウ
 しやうず (生ず) 66
 生せる
 生する シヤウ 79
 しやうじやうせぜ (生世) 184
 生 シヤウシヤウセセ
 世々
 じやうど (淨土) 237
 淨土 上ト
 しやかほとけ (釋迦佛) 154
 釋迦佛 シヤカホトケ
 「カは擦り消しか」
 釈迦佛 シヤカホトケ 168
 釈迦仏 シヤカホトケ 173
 じやかむにほとけ (釋迦牟
 尼佛) 172
 釋迦牟尼佛 シヤカムニホトケ
 寂靜 シヤク上 6
 寂靜 シヤク上
 しやばせかい (娑婆世界) 174
 娑婆世界 シヤハセカイ
 しゆいす (思惟す) 72
 思惟せは シユイ
 思惟せは

しゆじやう (衆生) 103
 衆生 スウシヤウ 130
 137
 156
 しゆじやう (衆生) ↓いちさ
 いすうじやう
 しゆす (修す) 66
 修して スウ 189
 修して
 じゆす (誦す) 136
 誦する シユ
 誦する
 誦する スウ 117
 じゆつ (術) 56
 術 スツ
 しゆつにふ (出入) 76
 出入 スツニウ
 じゆみやう (壽命) 73
 壽命 スウミヤウ
 じゆんじやう (純淨) 23
 純淨 シユン上
 じゆんじゆくす (純熟す) 12
 純熟す シユンスク
 純熟せす シユンスク 15
 純熟せむ シユンスク
 しようす (稱す) 93
 稱する シヨウ
 稱する

しようほつす (證發す) 49
 證發せむ シヨウホツ
 しよせつ (諸説) 90
 諸説 シヨセツ
 しよぶつ (諸佛) 2
 諸佛 シヨ
 諸佛 シヨ
 諸佛 シヨフツ
 しよほふ (諸法) 217
 諸法 シヨホフ 220
 諸法
 しる (知る) 157
 しらぬなり
 しりたまふかことく
 しん (身) 8
 身 シン
 しんごい (身語意) 104
 身語意 シンゴイ
 しんごふ (身業) 114
 身業 シンゴウ
 しんごん (真言) ↓じやうさ
 むごふしんごん
 真言 シンゴン
 真言

す

す (為) ↓いんせふす・かい
 ぶす・ぐそくす・くやうす・
 くわんす・くわんねむす・く
 るみやうす・げんす・さんす・
 しやうす・しゆいす・しゆす・
 じゆす・じゆんじゆくす・し
 ようす・しようほちす・ぢう
 す・ねむず・ねむぶつす・へ
 んす・りやくす
 せす 33
 せぬ 33
 し 164
 しはへるなり 204
 すへし 84
 するなり 151
 す 《助動詞》
 せおはします 231
 せたまはむ 215
 せたまひ 214
 せたまふ 205
 せたまへ 180
 ず 《助動詞》
 ろらむ (カ) 164
 すは 12

す 33
 すはへりける 170
 す 88
 すと 165
 さる 146
 さるなり 60
 ぬ 35
 ぬなり 110
 ぬもの 212
 ねとも 168
 ずい (薬) 41
 薬 25
 すいしやう (水精) 25
 水精 スイシヤウ
 すうだ (輸駄) 《梵語》 101
 輸 (去) 駄 (平濁) スウ
 秣駄 スウダ 131
 すうどかむ (輸度含) 《梵語》 102
 輸 (去) 度 (平濁) 含 (去) スウ
 秣度含 スウトカム 134
 すがた (姿) ↓おむすがた

すぎやうぎ (修行者) 86
 修行者 スウキヤウシヤ
 すくなし (少なし) 33
 すくふ (救ふ) 125
 救 給へ スクヒタマ
 すぐる (優る) 151
 すくれたる 36
 すぢ (筋) 223
 すち 62
 すなはち (則・即) 《副詞》 81
 すなはち 4
 すなはち (則・即) 《接続詞》 5
 則 スナハチ
 即 スナハチ
 すべて (總て) 209
 すへて 23
 せ 209
 せうそく (消息) ↓おむせう
 そく
 せけん (世間)

世間 セケン 26
 せそん (世尊) 156
 世尊 セソン
 せふぜんほふかい (攝善法戒) 121
 攝善法戒 セフセムホウカイ
 せふりつきかい (攝律儀戒) 121
 攝律儀戒 セウリツキカイ
 せむ (責む) 206
 せめては
 ぜんなむし (善男子) 162
 善男子 センナムシ
 ぜんによにん (善女人) 162
 善女人 センニョ
 そ 231
 ぞ 《係助詞》
 そ 239
 その (其) 41
 その 66
 其の (フは擦り消しか) 204
 そばはば (娑縛婆縛) 《梵語》

常住)
如来常住
219
221

ぬ

ぬ
《助動詞》
23
62
115
118
140
149

ぬへからむ
230

ね

ねうやくうじやうかい (饒益有情戒)
122

ねはんきやう (涅槃經)
219

ねむず (念ず)
219

念したてまつらせ
191
215

念したてまつる
194
203

念するなり
223

念するひと
92

念するを
218

ねむぶつ (念佛)
204
218
228

ねむぶつさむまいきやう (念佛三昧經)
216

ねむぶつす (念佛す)
210

念佛せさせたまはむ
213

の

の《助詞》 ↓ しのき
174
174
177
182
184
185
196
202
202

の
149
149
150
153
155
157
157
158
163

の
139
139
141
142
142
142
143
144
144

の
121
121
122
123
124
127
128
130
130

の
105
108
108
111
112
113
113
114
114

の
89
90
90
90
91
92
93
93
93

の
73
74
76
76
78
78
80
81
81

の
43
45
45
55
56
58
59
70
71

の
27
27
29
30
30
34
34
41
42

の

のぞく (除く)
97
109
129
153
155
235

のそくに
10
44
50
53
54
58
63
89
97

のたまふ (宣ふ)
165
234

のぼる (昇る)
80

のほりて
80

のみ 《助詞》
169

のり (法)
90

は 《助詞》
154
156
156
160
161
165
167
167
168

は
120
124
132
132
135
140
148
152
153

は
85
86
89
92
103
110
113
116
119

は
39
41
43
56
58
75
78
80
81
83

ば 《助詞》
219
222
223
224
228
230
233
235
237

は
182
190
201

は
12
61
72
95
117
143
147
178
180

はうへんぼむ (方便品)
73
76

ばかり 《助詞》
155

はじめて (初めて) 《副詞》
77

はしめて
11

はちえふ (八葉)
32
39

はちぶん (八分)
35

はつ (果つ)
98

はな (鼻)
76

はなつ (放つ)
87

む (体) 12 15 47 49 50 51 53
 54 55 56 83 164 210 216 230
 むつへんやく (無有変易) 222
 無有変易
 むかふ (向かふ)
 むかひ
 むかへり
 むく (無垢) 24
 無垢
 むじやうしやうかく (無上正覚) 82
 無上正覚
 むにむべつ (無二無別) 3
 無二無別
 むね (胸) 16
 むね
 むべつ (無別) ↓ むにむべつ
 むみやう (無明) 30 59
 無明
 むりやう (無量) 43 128
 無量
 むりやうじゆによらい (無量壽如来)

むりやうすウニョライ 無量壽如来 202 224
 むりやうじゆぶつ (無量壽佛) 172 193 214 223
 無量壽佛
 むりやうじゆみやう (無量壽命) 222 227
 無量壽命
 むりやうむへん (無量無邊) 45
 無量無邊
 むめ
 むうほふくゑきやう (妙法華經) 162
 妙法華經
 むうほふれんぐゑ (妙法蓮花) 185
 妙法蓮花
 むうほふれんぐゑきやう (妙法蓮花經) 171 175
 妙法蓮花經
 むぐる (巡る) (四) 20
 むくらむ 20
 むくり 20
 むくりて 144

むくるあひた 107
 むくるとき 26
 も
 も 《助詞》
 も 25 29 32 33 64 92 94 99 197 239
 もし (若し) 《副詞》
 もし 46 11 84 161
 若し 15 42 61 71 72
 もしは (若しは) 《接続詞》
 もしは 208
 もちゐる (用ゐる) 239
 もちゐるきは
 もとむ (求む) 55
 もとむ
 もとも (尤も) 87
 もとも
 もとより (元より) 141
 もとより 58 104 110 116 137
 もの (者) 153 164 196
 もの
 もの (物)

もろもろ (諸諸) 22
 もろく
 諸
 や
 や 《助詞》
 や (様) 99
 やうなる
 やうに
 やうやく (漸く) 196 211
 やうやく
 やがて 《副詞》 67
 やかて
 やく (益) 188
 益
 やくわうぼむ (薬王品) 179
 薬王品
 やぶる (破る) (下二) 28
 やぶれす

お

を

	223	199	176	159	129	93	69	46	11
	226	200	179	163	130	94	72	48	13
	227	203	180	163	136	103	72	49	14
	227	203	187	164	147	112	73	52	15
	230	204	189	169	150	117	74	53	20
	233	214	190	170	150	125	77	54	21
	234	218	194	171	153	126	80	55	30
	238	218	195	172	156	127	82	61	38
183	239	220	196	174	158	129	85	66	38